※令和３年度以前入学生用

学校番号	1016

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　現代倫理　新訂版（清水書院）						
副教材等	なし						

１担当者からのメッセージ

・各宗教の成立と、その戒律を知ることが、平和な社会の実現へとつながることを認識させたい
・わかりやすく映像資料を用いて、具体的事例をつかませていく。
・学んだ先哲の思想をもとに、各自が今後の生き方に活かせていけるように具体的な問題について考えさせていく。
・他者とともに生きる主体としての自己確立を促し、人格形成に努める実践的意欲を高めていく。

２学習の到達目標

到達目標	・人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせる。 ・人格の形成に努める実践的意欲を高める。

３学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	C 資料活用の:技能	d:知識・技能
観点の趣旨	青年期における自己形成に関心を高め，人格の形成と他者とともに生きる主体としての自己確立に努める実践的意欲を持ち，諸課題を探究し，在り方生き方への自覚を深めようとする。	他者とともに生きる主体としての自己確立に広く課題を見いだし，人間の存在や価値について多面的，多角的に考察，探究し，広い視野に立って主体的に判断し，適切に表現する。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，自己確立に資するように活用する。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を，他者とともに生きる主体としての自己確立の課題につなげて理解し，人格形成に生かす知識として身につける。
評価方法	授業態度 レポート 授業中の発言	授業態度 レポート ワークシート 小テスト 定期考査の結果	授業態度 レポート 小テスト 定期考査の結果	授業態度 レポート 定期考査の結果

※令和３年度以前入学生用

４学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	現代に生きる自己の課題・人間の生き方と社会のあり方	青年期の課題と自己形成 ①よく生きることを求めて ②青年期の課題 ③自己の探究 １－青年期の心とからだ ２－青年期の人間関係 ④現代の青年期	○ ○ ○	○	○	○	a: 青年期の課題について考察しようとする。 b: 青年期の意義や自己形成について、主体的に考察し、その結果を表現することができる。 c:青年期を自分の言葉に直したり、相手にわかりやすく説明したりすることができる。 d:青年期の課題と自己形成を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・プリント レポート 定期考査
		人間としての自覚 ①ギリシャの思想 １－哲学の形成 ２－ソクラテス ３－プラトン ４－アリストテレス ５－ヘレニズムの思想家たち ６－ギリシャの哲学と私たちの生き方	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:よく生きることの探究と自分の生き方と結びつけて考察しようとする。 b:ギリシャの思想について主体的に考察し、その結果を表現することができる。 c:歴史の背景関係を踏まえつつ的確に整理し、まとめている。 d:ギリシャ思想を自己の生き方にかかわるものとして知識を身に付けている。	
	人間の生き方と社会のあり方	②キリスト教 １－ユダヤ教の世界 ２－イエス ３－キリスト教の発展 ③イスラーム	 ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○ ○	a: 神教の特徴を生き方在り方の課題と結び付けて考察しようとする。 b: 神教の教えなどから自己の生き方とのかかわりを考え、適切に表現できる。 c:神教の表現を自分の言葉に直したり、相手にわかりやすく説明したりすることができる。 d:神教の特徴と在り方生き方と結びつけて理解し、知識を身に付けている。	

※令和３年度以前入学生用

2		④仏教 １－インドの思想文化 ２－ゴータマの教説 ３－仏教思想の展開 ４－今に生きる仏教の教え	○	○	○ ○	○	a:仏教の人生観などと自己の生き方を結びつけて考察しようとする。 b:仏教の教えを自己の生き方に照らし合わせ、主体的に考察し、その結果を表現することができる。 c:仏教の思想の展開を整理し、的確にまとめることができる。 d:仏教の教えを人間の生き方と結び付けて理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・プリント レポート 定期考査
		⑤中国思想 １－中国の思想文化 ２－儒家の思想 ３－道家の思想	○	○	○ ○	○ ○	a:中国の道徳論などを自己の生き方と結びつけて考察しようとする。 b:中国思想と自己や社会の課題を結びつけて考察し、適切に表現できる。 c:諸資料を適切に活用して考察できる。 d:中国思想の基本的な考え方を理解している。	
		国際社会に生きる日本人としての自覚 ①日本の風土と伝統 ②外来思想の受容 １－日本仏教の展開 ２－日本儒学の展開	○	○ ○	○	○ ○	a:国際的な観点をもち、考察しようとする。 b:日本の特徴と倫理的な観点を踏まえた上で主体的に考察し、その結果を表現することができる。 c:日本の歴史の背景を整理し、的確にまとめることができる。 d:外来思想と日本の思想の双方について理解し、知識を身に付けている。	
3	現代の諸課題と倫理	現代社会と倫理 現代に生きる人間の倫理 現代の諸課題と倫理	○	○	○	○	a:近代的人間の特徴を考察しようとする。 b:現代社会の現状や課題について主体的に考察し、導き出した結論を表現することができる。 c:諸資料を的確に活用している。 d:人間がよりよく生きるという観点の知識を身に付けている。	学習状況 ノート・プリント レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。